

英語科学習指導案

令和2年11月19日(木) 第5校時(14:05～14:50)

館林市立第七小学校 6年1組

指導者 T1: ○○ ○○ T2: ○○ ○○ ALT: ○○ ○○

I 単元名 Unit 6 I enjoyed school.

II 学習指導要領上の位置付け

目標 (4) 話すこと [発表]

(ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(5) 書くこと

(イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

内容 エ 話すこと [発表]

(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

オ 書くこと

(エ) 相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。

III 目標

- (1) 思い出の学校行事やそこでしたこと、感想を伝える表現について理解し、それらを用いて、自分のことを伝える技能を身に付けている。また、音声で十分慣れ親しんだ表現について、語順を意識しながら、文を書くときのルールに沿って正しく書き写す技能を身に付けている。(知識・技能)
- (2) 相手に、自分の小学校での思い出を知ってもらうために、思い出の学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えることができる。また、思い出を5年生に向けて残すために、それらについて見本を見ながら簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことを書いたりできる。(思考・判断・表現)
- (3) 相手に、自分の小学校での思い出を知ってもらうために、思い出の学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。また、思い出を5年生に向けて残すために、それらについて見本を見ながら簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことを書いたりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 「つかむ課程」における授業の展開（1／8）（本時）

1 ねらい 教師による小学校一番の思い出の紹介を聞いたり試しの活動を行ったりすることを通して、単元の課題の見通しをもてるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・ウォームアップをする（5分）</p> <p>(1) Mini Talk を行う。</p> <p>○活動の後に、表現できなかったことや間違いを指導・修正し、相手を変えてもう一度活動させる。</p>			
<p>2 6年間の七小の生活をふり返る中でどんな学校行事があったかを思い出す。（5分）</p> <p>○児童から出た行事名を教師がピクチャーカードで確認し、黒板に貼っていく。また、教科書 P.62-63 にどんな学校行事が示してあるか確認させる。</p>			
<p>3 教師による「小学校一番の思い出の紹介」を聞き、単元の課題をつかむ。（5分）</p> <p>○教師のやり取りを通して、「七小一番の思い出」についての内容を推測させる。</p> <p>○教師の紹介する写真や、楽しそうになつかしむ雰囲気での発表を見て、単元の課題や七小のみんなに紹介したい学校の思い出について、関心を持てるようにする。</p>			
<p style="text-align: center;">単元のめあて 家族や先生、七小のみんなに自分の成長や小学校の楽しさについて知ってもらうために、自分の小学校一番の思い出について紹介しよう。</p>			
<p>・配布された Grow Up Sheet に単元のめあてを書き込む。</p>			
<p>4 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>○教師によるやりとり（2回目）を通して、「小学校一番の思い出は何か」から、「思い出の行事でしたことやその感想」を紹介し合う場面を見て、どんな内容を言えばいいのかに気付かせる。</p>			
<p style="text-align: center;">本時のめあて 小学校の思い出を紹介するために、紹介する内容やその言い方について考えよう。</p>			
<p>5 試しの活動をして、自分が伝えたいことを紹介するのに必要な言い方について、既習事項を使ってどこまで言えるかを知る。（15分）</p> <p>(1) 自分が伝えたい小学校一番の思い出について、ペアで紹介する。（試しの活動）</p> <p>(2) 自分が伝えたい小学校一番の思い出についてなんとなく言える（または学校行事名を英語で何といたらよいか分からない）が、なぜその思い出を選んだのか理由が思いつかなかったり（内容面）、英語で何と言ったらよいか分からなかったり（言語面）、会話が継続できなかったり、さらにはまだ一番の思い出がまだ決められなかったりすることなどに気付く。</p> <p>(3) My favorite memory is the ～の言い方をデモでもう一度聞かせ、表現に気付く。</p> <p>○教科書 P.66 のチャンツを紹介する。</p>			

(4) ペアを変えてやりとりする中で、新たな課題がいろいろあること気付く。

教師による小学校一番の思い出の紹介を聞いたり試しの活動を行ったりすることを通して、単元の課題を把握している。

6 単元のゴールに向けて、どんなことをやっていくのかを確認する。(5分)

- 友達とやりとりしていく中で、自分にとっての小学校一番の思い出は何なのか、その理由は何なのかを決めていくことが必要であることを全体で確認させる。(内容面の確認)
- 自分にとっての小学校一番の思い出について紹介するために、英語でどんな表現が言えるようになりたいのかを全体で確認させる。(言語面の確認)

7 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)

- 教科書 P.70 の Looking Back を見せ、この単元で何ができるようになればいいのか確認させる。
- Grow Up Sheet に、単元のゴールに向けて自分が必要なこと(言語面・内容面)を書かせる。
- 何人かに発表させ、全体で共有する。
- ☆自分の小学校一番の思い出は決められたが、紹介する内容を具体的に考えられなかったので、もっと思い出せるようになりたい。【内容面】
- ☆まだあまり小学校の思い出についてふり返ったことがなかったので、これからよく考えていきたい。【内容面】
- ☆紹介したい行事の言い方を英語で何というのか、言えるようにしたい。【言語面】
- ☆行事の名前を英語で知っているものもあったが、知らないものもあったので、これから全部覚えていきたい。【言語面】